

■第69回 河川レンジャー制度運営委員会（2023. 6. 14）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、平山委員、沼田委員、矢野委員

（R印：河川レンジャー、△印：事務局）

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|-------|---|--|
| 1. 開会 | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうしましたら、委員の皆様全員、レンジャーのご出席の皆様もおそろいのおようですので、定刻前ですけれども、これから開催させていただく前に事務局より一言ございますので、お聞きください。 |
| | △松田 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局で琵琶湖河川事務所の保全対策官をします松田と申します。どうぞよろしくお願ひします。 ・今年度、委員の皆様におかれましては、委嘱をする時期が例年より遅くなってしまったこと、おわび申し上げます。事務手続等で少し遅れたところもございまして、来年からはなるべく4月早々に委嘱できるようにさせていただきますと思いますので、引き続き、委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、定刻になりましたので、これより第69回河川レンジャー制度運営委員会を開催させていただきます。本日は、ご多忙の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 ・私は、本日の司会進行を務めます、委員会事務局の中西と申します。よろしくお願ひいたします。 ・本日の委員会でございますが、オンラインと会場の併用にて開催させていただきます。また、委員の皆様全員の出席により過半数以上ということでございますので、委員会規約第8条第2項によりまして、この委員会の成立を報告させていただきます。 ・次に、お手元の資料のご確認をお願いいたします。資料につきましては、議事次第、委員名簿、配席図とございまして、本資料が資料－1から資料－5までの5種類がございます。また、参考資料としまして5種類ございます。それから、対面でご参加の方には、河川事務所からの「『流域治水課』の設置について」というカラーの資料を配らせていただいております。ウェブでご参加の皆様には「その他」の議事のところで河川事務所より画面を映して紹介させていただきますので、お許しください。以上、資料の過不足等ございましたら、お申し出いただけますでしょうか。 ・続きまして、委員のご紹介をさせていただきます。お手元の第69回委員名簿をご参照ください。今年度初回でございますので、委員の方お一人ずつ自己紹介をお願いしたいと思っております。名簿に従いましてお名前をお呼びしますので、お一言いただければと思います。まずは中谷委員様。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・中谷です。よろしくお願ひします。 ・県庁で川の仕事をしているときからこの委員会に関わらせてもらっていま | |

| | |
|------|--|
| | <p>す。あとNPOになってからも関わらせてもらっています。そういう中でレンジャーさんには頑張って活躍していただいていますので活動を楽しみにしていますし、そういう面でお役に立てればと思って座らせていただいております。どうぞよろしく願いいたします。</p> |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、平山委員様。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは。平山奈央子です。よろしく願いいたします。 ・滋賀県立大学環境科学部で水環境に関する住民さんの意識などを研究しているんですけども、私自身が河川レンジャーを務めたこともありますので、何かお役に立てればと思います。よろしく願いいたします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、北井委員様。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・北井です。よろしく願いします。 ・個人的に県で2008年に流域治水の検討がされたときの住民会議の委員をした経緯から、淡海の川づくりフォーラムという——本当はワークショップと言うと一番分かりやすいと思うんですけど、活動団体さんのエネルギーになるような、継続する力になるような企画・活動をしようということで淡海の川づくりフォーラムというのが始まりまして、行きがかり上というか、言い出しっぺで実行委員長という立場でやっております。河川レンジャーもこの委員の立場で長く関わらせていただいています。よろしく願いします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、今年度から加わっていただきました沼田委員様。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。流域政策局河川・港湾室の沼田です。今年からですので、皆さん、よろしく願いします。また、日頃から県の河川行政の推進にご協力いただきまして、ありがとうございます。 ・本当であれば、そちらのほうへ行って直接お話を聞きたかったところですが、ちょっと会議が重なりましてウェブでの参加となっておりますけども、どうぞよろしく願いします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、矢野委員様。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長の矢野公久です。事務所長となって3年目というところでございます。 ・我々、琵琶湖河川事務所のほうでは瀬田川・野洲川の治水対策を主にやっているんですけども、川は、皆さんご承知のとおり、周りにお住まいの方々があつてこそということで、こういった河川レンジャーがいろいろ活躍していただける場もつくっていくというふうなことを考えてございます。本日もいろんな意見を出していただいで前向きに考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・河川レンジャーの方は、今日、5名のうち、4名ご出席いただいております。お一方、西島レンジャーに限りましては、所用がございまして欠席と |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>なっております。本日審議いただく年間活動計画案は事前に説明動画をいただいておりますので、そちらで説明に代えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事でございますけれども、議事次第を見ていただきまして、2番の「委員長・副委員長の選出」から「その他」までの議事を執り行います。閉会は16時を予定してございます。長時間にわたりますが、何とぞよろしくお願いいたします。 ・ウェブでご参加の皆様をお願いなんですけれども、発言をしていただくまではマイクをミュートにして、司会進行の合図をもってミュートを解除してお話しいただくということをお願いいたします。 |
|--|--|--|

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|----------------|------|--|
| 2. 委員長・副委員長の選出 | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、2番に移って、「委員長・副委員長の選出」ということで進めてまいりたいと思っております。 ・こちらの議事の進行は前年度の委員長をお務めいただきました中谷委員にお願いしたいと思うんですけれども、皆様、いかがでしょうか。 |
| | 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選出を次の委員長候補がするの？ それはないと思うよ。それは事務局がやられたほうが良いと思えますよ。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。それでは、事務局のほうで進めさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。（「はい」との声あり） ・そうしましたら、今年度の委員長でございますけれども、どなた様からでも、自薦・他薦問いませんので、よろしくお願いいたします。 |
| | 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員規約に基づいて委員長と委員長を決めるんですね。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうです。まず、お手元の資料をご説明させていただきたいと思っております。資料-1と資料-2をご確認ください。 ・まず、資料-1につきましては今年度の運営体制ということで… |
| | 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・これは後のほうがいいんじゃない？ まず、委員長・副委員長の選出からしたほうが良いと思えますよ。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・失礼いたしました。 ・資料-2をご確認ください。下段に制度運営委員会の規約第7条を抜粋しておりますけれども、「委員会には委員長1名、副委員長1名を置くこととする。」「委員長及び副委員長は委員の互選によってこれを定める。」となっておりますので、この表1の委員のメンバーの中から選出をお願いしたいと思います。 |
| | 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・まず委員長を決めていきましょうか。委員長を決めるときに立候補する人がおるかどうかというのを確認したらどうですかね。 |

| | |
|------|---|
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい。 ・まず自薦ということで、委員長の立候補はおられますでしょうか。・・・難しいようですと、他薦ということで推薦していただけるご意見はいかがでしょうか。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、私から他薦で。引き続き中谷委員さんに委員長で運営していただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・異議ありません。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブの平山委員、沼田委員、いかがでしょうか。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・お願いしたいと思います。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私も中谷委員先生にお願いしたいと思います。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・中谷委員、推薦がございましたけれども、よろしいでしょうか。お受けいただけるでしょうか。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・そういうお声をいただきましたので、務めさせていただきます。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。そしたら、拍手をもって決定ということでお願いいたします。（拍手） ・では、続きまして副委員長の選出ということで、まず自薦のほうからご意見がありましたら挙手をお願いいたします。・・・ないようですと、推薦の意見等がございますでしょうか。 ・中谷委員、お願いします。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど北井委員さんから言われたからというわけではないんですけど、住民代表ということで、この制度の上で大変大事なところだと思いますので、北井委員さんをお願いできればと思います。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・異議ありません。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブの皆様、いかがでしょうか。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・よろしく願いいたします。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私もお願いしたいと思います。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・それでは、副委員長は今年度も北井委員さんにお願いしたいと思います。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・お願いします。（拍手） |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうしましたら、中谷委員様が委員長、北井委員様が副委員長に決まったということで、皆様、ありがとうございました。 ・それでは、事務局説明ということで、資料－１に戻っていただきまして、本年度変わりましたところを説明させていただきたいと思っております。 ・先ほど紹介がございましたが、本年度、滋賀県の沼田委員様が昨年度の辻様に替わって委員として就任いただきました。それから、琵琶湖河川レンジャーとしましては、今年度新たに西島河川レンジャー、野村河川レンジ |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>ヤーが加わりました。昨年度の3月の委員会を経て任命されまして、4月1日から活動開始ということになっております。裏面に参りまして、琵琶湖河川レンジャー担当者としましては、河川事務所の異動に伴いまして、総括保全対策官の田中基幸様が新たに就任されております。それから、管理課調整係長の安田有佑様をご担当されております。そのほかのメンバーには変更はございません。よろしくお願いいたします。</p> |
|--|--|---|

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|---|--|--|
| 3. 報告 (1) 第68回委員会 の開催結果 (議事要旨) | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、3の報告事項の議事に進めさせていただきます。こちら以降は中谷委員長に進行をお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、早速進めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 ・今もお話がありましたように、3の報告事項の(1)ですね。第68回の委員会の開催結果ということで、お手元には資料-3、議事要旨が配布されていると思いますが、これについて事務局から説明をお願いします。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・3月1日にごございました第68回の議事要旨について報告させていただきます。委員の皆様におかれましては、議事録、議事要旨をあらかじめ確認していただいたということもありまして、本資料は案の取れた議事要旨となっております。 ・結果のおさらいでございますけれども、前回は、報告といたしまして、河川レンジャーの皆様から年間の活動報告がございました。1ページ目の下段になりますが、根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャーの活動が報告されまして、感想や今後に向けたアドバイス等がなされております。 ・2ページ目の下、審議としまして、河川レンジャーの応募用紙の改正についてご審議いただきました。少し応募用紙をリニューアルするというようなことで確認いただきまして、現在、運用が始まったということになっております。 ・3ページ目、その他ということでは、レンジャーレポートの発行ですとか河川事務所からの情報提供がなされております。 ・トピックスとしましては、「■非公開審議」というところを書いてございますが、今年度のレンジャーの皆様への審査が執り行われまして、継続されているレンジャーも含めまして5名の任命が決議されたということでございます。 ・以上が議事要旨の報告でございます。よろしくお願いいたします。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ただいまの報告につきましては、お話がありましたとおり、一度委員の皆様にはご確認をさせていただいたところです。この中で「ここに関してどう | |

| | | |
|--|--|--|
| | | か」というようなことがありましたらお伺いいたしますが、いかがでしょうか。・・・特にないと思いますし、何かありましたら後の活動計画の審議の中でまた触れていただいても結構ですので、この議事要旨のパートについてはこれまでとさせていただきます。 |
|--|--|--|

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|--|------|--|
| 3. 報告 (2) 第68回委員会以降の河川レンジャー活動支援室の主な取組状況 | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、次、報告事項の2つ目ですね。68回委員会以降の活動支援室の主な取組状況について、事務局から説明をお願いします。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、資料-4をご覧ください。前回3月1日以降の河川レンジャー活動支援室の主な取組ということで報告いたしたいと思います。 ・まず、「令和5年度の支援室の主なスケジュール」ということで表1をご覧ください。 ・一番左側の列には、河川レンジャー制度運営委員会や河川レンジャーさんと事務所さんとの意見交換会のスケジュールを載せております。委員会は本日を含めまして3回、またレンジャーさんと事務所さんとの意見交換会は2回予定しております。 ・中ほどの列は、「河川レンジャーミーティングおよび河川レンジャー研修」ということで、支援室のほうで支援する主な河川レンジャーさんへの取組でございます。レンジャーミーティングということで4月から6月にかけて何回かやっておりますけれども、今年度から新たに加わられたレンジャーさんもいらっしゃいますので、できるだけミーティングを密にして実施していきたいと考えております。皆様が一堂に会すということがまだできておりませんので、ウェブを利用しながら密に実施したいと考えているところでございます。それから、河川レンジャーさん向けの研修ということでは7月10日に予定しております、また秋にも予定したいと考えております。 ・あと、レンジャー活動の広報ということでは、レンジャーレポートの発行を3回ほど考えております。 ・裏面に参りまして、「河川レンジャーの募集状況」でございます。3月から今回6月にかけて、募集は続けていたところでございますが、応募はありませんでした。 ・3番目の河川レンジャートライアルにつきましては、今現在、5名のトライアルの方が去年に引き続いて活動するという意思を示していただいております、昨年度と同様、5名の方の継続でございます。ちなみに、昨年度トライアルになられて、表3に示してますように、5月、6月、10月、12月、2月と、それぞれ活動をいただいているところでございます。 ・そのほかは、各河川レンジャーさんの活動のご相談とか活動への支援物品 |

| | |
|------|---|
| | <p>の調整とか、そういう動きを支援室としてはしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上でございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、報告ありがとうございました。 ・本件に関して、質問等、委員の皆様からいかがでしょうか。 ・カレンダーを見てますと、ミーティングを月ごとに開催してもらってますし、研修も予定いただけてますね。 ・ちなみに、研修は2回ありますけど、今分かっている範囲で、どんなイメージというか、どういうことをしようみたいなことがあれば、手短かに紹介いただければと思います。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、分かりました。 ・7月10日に既に日を決めさせていただいている研修なんですけれども、瀬田川で河川レンジャーさんが2人誕生したということで、主に新人のレンジャーさんをターゲットに、河川の利用マナーですとか瀬田川の河川管理に向けた内容を含めた研修にしたいと思っております。そのほか、水辺の安全活動に関する基礎知識ですとか、Eボートを活用した活動もこれから考えられているということもありまして、その紹介をさせてもらうような2時間程度の研修を今考えております。 ・秋に向けては、特にベテランのレンジャーさんの意向を聞きながら、新たなレンジャーさんにも聞いていただけるような、少し踏み込んでテーマを絞ったような活動にしたいと考えておるんですけれども、まだ特段決まってない状態です。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・今お話しいただいたとおり、うまく工夫してもらえるとと思うんですが、その中で、事務所さんで考えておられる課題とか、いろいろあろうかと思えますので、レンジャーさんの活動がその辺にまたリンクする部分もあろうかと思えますし、そこら辺もちょっと意識しながら取り組んでいただけたらなというふうにも思います。そういう面では事務所さんとの意見交換も準備いただけてますので、よろしくお願ひします。 ・はい、平山委員、どうぞ。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご説明ありがとうございます。 ・確認させていただきたいんですけれども、河川レンジャートライアルの方の活動の流れなんですけど、5名在籍しておられて、その方々がどういうふうにもどの活動に参加するか。というのは、トライアルの方が選ぶのか、支援室が関心ありそうな人にお勧めするのか。トライアルの方がどれぐらい自発的に活動されているのか、その辺をお伺ひしたいです。 ・それと、交通費は出ているのか確認させてください。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・まず交通費については、事務局が整理しましてお支払いしております。 ・それから、トライアルの皆様は平等に「こういう活動があるけれども、時 |

| | |
|------|--|
| | <p>間と興味があれば参加されますか」というような案内を出しております。その中で興味を持たれたトライアルの方から連絡をいただいて、参加につながっているというような状態になっております。</p> |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・河川レンジャーに応募していただきたいという目的でトライアル制度を実施していると思うので、その辺の活動をイメージができるような、ただ活動に参加するのではなくて、マネージャーがいろいろ介入して「もしこういうことに関心があったら、こういうレンジャーの活動もありますよ」みたいな、そういうところまでイメージできると、応募者が増えるかもしれないなと思いました。もしそれがなければ、ほかのボランティア活動に参加するのと何ら変わらないことになってしまうので、その辺は目的に応じてマネージャーが介入していただいたほうがいいのかなと思いました。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・平山委員、ありがとうございました。 ・そうですね。メンバーさんを見ていると、今それぞれ4回生、3回生という条件もあるし、そういうことも踏まえながら、平山委員から指摘があったように、うまくつながる部分が出てくればありがたいなという感じですね。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、矢野委員、どうぞ。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今のお話を伺いまして、瀬田川の研修に関して、マナーとかいう話であれば、新しい人向けというふうな話でしょうから、4月か5月、早いうちにやってあげたほうがいいのかなということで、次また新しい方が来られた場合にはそういったことを検討していただければなど。これはお願いというところでございます。 ・それと併せてお願いなんですけども、ウェブでやるという話であれば、トライアルの方にも同じように参加していただいて。マナーとか、そういったものは同じだと思いますので、今も平山委員からありましたように、今後つながっていくといった点ではそういったことも知っていただければいいかなと思います。 ・2つとも提案ということでお願いします。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・大事なところのお話をいただきました。ぜひそういう観点でうまくつながっていくようなところに向けて、幅広く集まってもらうみたいな、そういう感じですかね。 ・今いろいろ大事なご意見もいただきましたが、あとよろしいですかね。では、このパートはこれぐらいにして、次へ移らせていただきます。 |

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|-----------------------------------|------|---|
| 4. 審議 (1) 河川レンジャー年間活動計画の承認について | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> 次は審議事項になるんですが、この進め方について事務局から説明をお願いします。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> この議事でございますけれども、今年度の河川レンジャー5名の皆様の年間活動計画(案)についての審議となっております。 これから河川レンジャーの皆様には計画内容の説明を10分程度、その後、委員の皆様には質疑応答等の審議を10分程度行っていただきます。進行の関係から、時間が参りましたら合図をします。まず1分前になりましたらベルを鳴らさせていただきます、ちょうど10分になりましたらまた合図をさせていただきます。事務局のほうから紙でも合図をさせていただきます。 資料-5が各レンジャーさんの計画資料となっております。レンジャーさんによりましては画像資料も用意してもらっております。適宜レンジャーさんには前の演台に移って説明いただくというような形となっております。 説明の順番でございますけれども、ベテランレンジャーからということで、根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャー、野村レンジャーという順番となっております。西島レンジャーにおきましては、動画での説明に代えさせていただきます。 以上でございます。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> そしたら始めますので、ちょっとそこは進行してもらえますか。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> まず、根木山レンジャーから説明をさせていただきます。セッティングをしますので、少しお待ちください。 資料につきましては資料-5の1ページと2ページでございますけれども、別途説明資料をご用意しておられますので、それを中心に説明されます。 |
| | R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> 皆様、こんにちは。今年11年目になります、河川レンジャーに任命いただきました根木山です。今年もよろしく願いいたします。 今年度も「野洲川の川守りをつなぐ」というテーマで引き続き取り組んでいきたいと思っております。 基本的には、野洲川下流部で野洲川を利用する住民が増えていって、その住民が、自分たちのために活動するんだけど、併せて、野洲川の維持管理とか、そういったことにも協力する住民の姿が増えるということを将来的な目標像として持って活動を続けております。今年度も引き続きそれに取り組みたいと思っております。 事務局のほうから新しい部分を強調して説明するよということでしたので、そちらを主に説明したいなと思っております、基本的にこれま |

| | |
|--|--|
| | <p>での活動を引き継いで、例えば中洲こども園の野洲川での川遊びの支援なども今年度も早々に園長先生からご要請いただいて、今月、先生向けの講習もして、今後また川遊びの活動の支援もさせていただく予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、住民グループのほうも今すぐく人数が増えていて、子供・大人合わせて46人の住民の方が参加して、非常に積極的に活動してくださっています。住民の代表の方からは、救命救急講習をしようという提案をいただいて消防署のほうに調整していただいたり、冬場に野洲川で刈ったヨシを使っていかだ下りに出ようという提案をいただいたり、そういうアイデアが住民からいろいろ出てきて活動が進んでいる状況です。 ・そういった中で今年度新しく取り組みたいなと思っているのが2つあります。 ・1つ目は、3月のときにはなかった話で、4月に入ってから支援室とのミーティングの中で、支援室から「今まで10年間のかわまちづくりを通していろんな方々と一緒に活動してきたので、それを見える化するみたいなことはできないですか」というサジェスチョンをいただいて、「ああ、なるほど。そういうことは今まであんまりやってこなかったかも」ということで、そういったことに挑戦してみたいなというふうに思っているのが1点目です。それがこの赤く書かせていただいている部分で、かわまちづくりの見える化ということをやりたいと思います。いろんな方々にお世話になりながら野洲川で関わっている方々をつなぎ役をさせていただいているので、その方々の声を動画に記録して、それを1本の動画にまとめるというように挑戦してみたいなと思っています。 ・2点目が、これは3月のときにもご説明させていただきましたが、最下流部の中洲学区だけではなくて、もう少し上流側、栗東とか野洲との境目の辺り、栗東・野洲含めたところでの活動を始めていきたいなというふうに思っております。 ・もうちょっと細かく説明すると、まず1つ目の活動の見える化、かわまちづくりの見える化という部分に関しては、河川管理者であるとか地元の住民の自治会長さん、あるいは住民グループ、野洲川を利用している方々であるとか、こども園の園長さんとか、あと場合によっては僕が出てもいいかなとは思いますが、いろんな方々が野洲川に関わっておられるので、その方々の声を、僕が会いに行き行って聞くだけではなくて、動画に収めると。ただ、動画に収めるときに、僕が聞きに行くと、いつもの話になってしまうので、なかなか言葉になりにくいと思うので、聞き役として知り合いの中高生に参加していただいて、「初めまして。野洲川について教えてください」というような形で各関係者の方に出会いに行ってもらおうと。初めての相手であれば、みんな丁寧に説明してくださると思うので、その説明している様子を撮影して1本の動画にまとめたいというような |
|--|--|

| | |
|------|---|
| | <p>ことを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この新しいアイデアが入ってきたので少しスケジュールが3月のときから変更になってまして、上流部への活動をちょっと後半にずらして、前半は、夏場の野洲川での活動がすごく楽しい時期でもあるので、そこを動画撮影させていただいて、まず動画づくりのほうを先行して、冬場以降、上流部への活動を具体的に進めていけたらなというふうな活動のスケジュールに変更になっています。 ・多分、どんな動画をつくるんだというイメージが分かりにくい部分もあると思うので、以前、僕が個人的に作った動画——まあ、これをつくるわけじゃないんですけども、こんな動画を以前つくったことがありますよということちょっと紹介したいなと思います。 ・（※動画を流しながら）これは新守山川というところでのこども園さんの活動だったんですけども、まず保護者の方のインタビューのシーンですね。・・・例えば、こうやって保護者の方に話を聞いたり、地域の住民のリーダーの方に話を聞いたり。・・・もちろん、こういう活動の様子みたいなのは入れます。・・・これは園長先生ですね。 ・これは2日間ぐらいの活動を撮影して、その場でぱっとインタビューしたものなんですけど、今回は、半年ぐらいかけて丁寧にアポイントを取って話を聞きに行つてということをしてほしいと思うので、もうちょっと長いものになるかなという気はしています。河川管理者の方にも河川管理者の立場から「野洲川のかわまちづくりにはこういう意味があるんだよ」ということを語っていただきたいですし、住民代表の方からは「野洲川を通してこういう地域活性化をしていきたいんだ」みたいなことも語っていただけたらいいなと思いますし、実際に野洲川を日常的に使っている住民の方からは「こんな楽しいことがあるんだよ」とか「こんな変化があったよ」みたいなことを語ってもらえたらいいのかなと思ってますし、中洲こども園の園長先生も園の立場で子供さんを野洲川で活動させるに当たっての声みたいなのも語っていただけたらいいかなと思っています。 ・委員の皆様からも「こんな人の声は拾えないのか」とかいうのがあれば、おっしゃっていただきましたら、今後進めていけたらなと思っています。承認していただけたら具体的に進めていくことになりますので、ぜひアドバイスをいただきましたら幸いです。 ・私からの説明は以上になります。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、根木山さん、ありがとうございます。 ・では、委員の皆様から質問、意見等々伺っていきます。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員さん、どうぞ。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・見える化するということに取り組みされるということで、また成果が楽しみで |

| | |
|------|---|
| | <p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 野洲川上流部の活動は水辺の利用活動等ありますが、どういうところに呼びかけて、どういうふうな活動をされる感じで思われているか。ちょっと先ですけど、イメージがあったら教えてもらいたいなと思いました。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 実際まだ分からないことだらけなので、まずはリサーチを兼ねて、まず一つ、昨年度リサーチした感じで、低水路護岸は下りられないのかなと思ってたら下りれることが分かったので、とりあえずそこに下りて——まあ、冬場なので川遊びはできないので、ごみ拾いとか、幼木が生えてたら幼木伐採とか、そういう場をまず設けて、それに参加しませんかというイベントをつくって、そういうのをやるんですよというのをチラシとかを持って地域の公民館さんとか、野洲や栗東は今まであまり行ったことがないので、そういう地域地域の場所に挨拶がてら行って、「野洲川でこれまで何か活動されたことはありますか？」みたいな話も聞きながら、本当に中洲で1年目2年目にやったようなことをもう一度始めるというイメージかなと思っております。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> 何か当てがあったらいいですけどね。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> まずは公民館とか。取りあえず、いきなり行っても門前払いされないところにまずは行こうかなと思ってます。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> なるほど。分かりました。ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ほかにいかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ご発表ありがとうございました。 見える化するために動画を作成されるというところでもう少しお伺いしたいんですけども、今まで関わってこられた方とか川に関わっておられる方の声を集めて、それを見る化するのはツールだと思うので、その見える化した後にどのように使いたいのかという目的を教えてくださいたいです。 それともう一つ、たくさん声を聞いておられると思うんですけども、やっぱり動画にまとめると一部を切り取ることになると思うので、その辺が難しいなと思います。切り取った分かりやすい動画が1つあるのと、それとは別に今まで聞いたもの全てがざっと見れて、関心のあるところだけいつでも見れるというものがセットであるといいんじゃないかなと思います。もしよければご検討ください。 1つ目の目的について教えていただければと思います。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 厳密な意味で住民の声を聴取するというと、今回やろうと思っている戦略というか、戦術は、少し削ぎ落として発信することに主を置いた戦術のかなという自覚はちょっとあります。ただ、今まで私がちまちまとやって |

| | |
|------|---|
| | <p>で、私の周りにはいる人はそういうことが行われているのを知っているんですが、あと自治会長がこういう思いを持っているとか河川管理者がこういうふうなことを思っているということをも具体的に俯瞰して見てもらうことがこれまでできてなかったもので、そういう意味で、ぱっと見てもらえるツールをつくるということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ただ、それをすることによってそぎ落とす声みたいなものが出てくるということは自覚しているので、平山委員さんが後半おっしゃっていただいたようなことをどこまで今年度取り組めるか分からないですけれども、本来的にはその部分も切り捨てていいものではないので、そこをもうちょっと地道に見えるように、丁寧に見えるようにするというのも——具体的にまだそこまで考えはないので、今後考えていけたらいいなと思いつつ今ご意見を聞きました。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> 分かりました。今年度から初めて取り組まれることなのでいろいろ試しにやってみてもらおうのでいいかなと思います。短い動画でもターゲットを絞ったような、何を伝えたいのかというところが分かりやすい動画になると（川に寄ってきてほしいのか河川レンジャーになってほしいのかなど）見る方にとって有益なんじゃないかなと思いました。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> はい、ありがとうございます。 ほかにいかがでしょうか。はい、沼田委員、どうぞ。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 説明ありがとうございます。 先ほどの動画を見させていただいて、魚をつかんだり、ごみを取ったりということで、私も自分の子供が小さかったときにこの動画を見ていれば子供と一緒に参加したかったなと思うほど、うまく撮れてたと思います。 今後、見える化というのは非常に大事だと思うんですけども、動画を撮った後、多くの方にこの動画を見ていただくのにどういった形で周知されるのか。せっかくいい動画を撮ったのに見る機会が少ないのもったいないので、YouTubeを使う等、どういった形で周知されていくのかというのを教えていただけないでしょうか。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 正式には支援室とも相談して決めていかないといけないと思うんですけども、私のイメージとしては、今ご紹介いただいたようなYouTubeですとかSNSなんかアップロードして、誰もが見られるような形をまず取る。そのときにどのアカウントで上げるのかということはこれから調整が必要なのかなというのと、あと、アップしただけではなかなか見られないことも現実にはあるので、少し予算を使って——プッシュ広告みたいなことが今あるので、そうすると少し押しつけ気味に人の目に触れるということ |

| | |
|------|---|
| | <p>ができるので、その辺は支援室とも相談しながら詰めていきたいなと思っております。</p> |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・2点。まず1点は、根木山さんにご確認するのは、今回上流部に進出する、チャレンジするということで非常に心強いかなと思っているんですけども、今までの中洲での経験上、これから新しいところに行く際の懸案というのは今何か想定されてますか。というのは、その懸案について明確であれば、支援室のほうでそこを支援するというふうなことでつながりやすいと思います。例えば、今もお話がありましたように、公民館に行くといったときには支援室が同行する等、地域の情報を調べておくということで支援できると思いますので、そういったことが今の段階で分かっているのであれば、ちょっとお教えいただけますかというのが1点。 ・もう一点は、先ほど皆さんもお話ししている見える化です。正直、これは根木山さんに聞く話なのかどうか、違うかなとは思っているんですけども、既にレンジャーレポートという形で活動については見える化をしているかなと思う中で、支援室のほうが見える化をしてはどうかという提案をしたときに今の話とちゃんと目的が合っているのかなというのがちょっと懸念なので——これは、どっちかという、事務局に聞く話になってしまうんですけども、こういったことで見える化する、そういった方法で使う——今の流し方とかですね。そういったことも含めて考えた上で提案したのか、ただただ話の中でそれが出てきたのか。できれば、きちっと支援室が「こういう目的を持ってレンジャーにお願いした」ということを明確に言っていただければ今の話も合致してくるのかなと思うので、その点、よろしくをお願いします。 ・1点目のほうをお願いします。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・上流に行くに当たって、中洲のときもそうだったんですけど、「初めまして。河川レンジャーの根木山です」と言っても不審がられるというか、特に公の機関の方は不審がられて、なかなかすぐぱっと打ち解けて情報交換できないということがありました。特に野洲市や栗東市は僕もふだんからほとんど付き合いがないので、ちょっと未知のところがあるので——多分、野洲市と栗東市にも守山市でいうところの国県事業対策課みたいな野洲川を所掌している課があると思うので、そういうところに行くときにはぜひ支援室に間に入っていただいて、和やかに入っていけるといいなと。そういうご支援をいただけたらありがたいなと思います。 ・あと2点目のほうも、ちょっと僕からの視点ですけど、多分レンジャーミ |

| | |
|------|--|
| | <p>ーティングの中で「見える化みたいなことを入り口に、もうちょっと今までにない活動を」ということでおっしゃっていただいたのかなど。それを聞いたときに「ああ、それだったら動画づくりができるな」というのが僕の中で自分ができることとしてぱっと出てきて、「動画づくりならできますよ」と返して、「ああ、それ、いいかもしれませんね」みたいな感じになったというような流れかなと思っています。まずはちゃんと承認していただかないと正式には始められないので、今日この場で僕の素案を出させていただいて、これで承認していただいたら、また具体的に事務局とも詰めていくのかなというような感じで僕としては受け止めております。</p> |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・事務局、お尋ねがありました。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局とミーティングさせてもらった中では、レンジャーのあるべき姿の真ん中に「伝える」という部分がありまして、根木山さんがかわまちづくりに関するいろんな支援をされている中で、その「伝える」という部分を少し伸ばすといいますか、そこが見えるようなものがあるといいんじゃないでしょうかという話をさせてもらったときに、動画づくりで声を拾っていきこうかなということをその場でもおっしゃってたと思います。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・じゃあ、ターゲットはレンジャーさんを増やすということですか。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・いえ。根木山さんの活動を広く伝えるとか、拾った声を不特定多数の方に伝えるというようなことで、レンジャーさんを増やすというよりは根木山さんの「川守をつなぐ」という活動に近づいていくといいますか、そこが充実できるんじゃないかなという思いです。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ということは、結果としては、それを今回つくっていただいて、レンジャーというか、参加者が増えるということが一つの成果と。まあ、それが全てではないですけども、ということにつながればということですかね。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、分かりました。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・冒頭で、仲間が46人で、自主的に出てくるという人もありましたね。今の話を聞かせてもらおうと、今つくろうとしているツールを例えばそういう仲間を増やすときに有効活用して、ある人によっては「こういうことなら、もっと自分が中心になってやってみようか」とか、そういう方も出てくれば、それがレンジャーさんにつながるとか、そういう流れも期待できるのではないかと思います。 ・あと、ほかにも意見がありましたけども、スポットスポットの動画の連続ではなしに、もっと広い意見はきめ細かく記録して。それで思うのは、46人の方がいるんだけど、その人たちが暮らしている背景にはもっと多くの方がいると思うんですね。だから、そういうところにうまく伝わって |

| | |
|------|--|
| | <p>いくようにいろんな道具を使いながらやりましょうよということかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、今、発表いただいて委員の皆様からご意見等ありましたので、それを踏まえた上で、ツールはまた支援室とも協力し、工夫しながら取り組んでいただくということで、活動については承認とさせていただきます。よろしくをお願いします。 |
| R根木山 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。(拍手) |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、次の準備をいたします。 |
| R水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・7年目に入ります河川レンジャーの水上です。どうぞよろしくお願いします。 ・私のほうはパワーポイントなしで、この活動計画で説明させていただきますので、お手元のものを見ていただければと思います。 ・まず、初めて委員になられた方もおられますので、簡単に実施目的から説明させていただきます。 ・私がやっているのは、野洲川の河川環境を大切にして、住民主体の下、住民・企業・行政と連携して、川を知って川を生かした活力ある地域づくりの実現を図るため、川を軸にした地域活動としての川づくりの活動を行うということです。 ・ビジョンとしては、まず多くの人々に野洲川に集まってもらわないかと。それから、住民が川づくりに参加できるような仕組みづくり。それと、ここが大事なんですけど、住民と行政がともに考える川づくりの仕組みができるということで考えてます。そして、最終的には住民主体となるような住民参加の川づくりを実現するということを考えてます。 ・ミッションとして、サブテーマとして2つのテーマで「地域住民参加の川づくり」と「企業参加の川づくり」。企業を入れているのがちょっと違うところです。 ・ミッション達成のための具体的な川づくりのテーマとしまして全部で6つありまして、環境保全、川に親しむきっかけをつくる川の利用、それから川を知ってもらうということですね。あと、川の恐ろしさを伝えるということで安全、水害などから地域を守るということで防災。それから、一番大事な地域連携ということで、地域連携をした川づくりと。 ・今年度の成果目標としましては全部で5つあります。1つは野洲川河川清掃で、これは2017年から続けております。これにつきましては、継続して進めるとともに、今年度も住民主体の川づくりということで企画の段階からいろんな住民の方あるいは企業の意見を聞いて計画を立てていくと。それから、樹木再繁茂対策。これは野洲川の水害から地域を守るということで、これについては後で詳しく説明させていただきます。3番は、野洲川の中洲親水公園で根木山さんと活動していますが、その利用の活性化。あ |

とは、住民の思いを聞いて届けるということで、これはまさに地域連携のところ。5番目は、根木山さんの発表でも出てましたけど、野洲川中流域・上流域での活動に向けた取組を始めるということで、これを新しく進めています。

- 次のページに具体的に計画を書いていますので、順番に説明していきます。
- まず1つは野洲川河川清掃ということで、これは夏季ですけども、今度の土曜日、予備日としては23日に設定しています。これは50名ぐらいの小規模で、企業（レイマックさん）を中心に、根木山さんと連携しながら、自治会や行政と一緒にやります。内容は、去年はたくさんやりましたが、今回は河川清掃一本に絞ります。それから、「その他」のコロナウイルス関係については、今のところ、自然体でいけそうですので、それはそのままいきます。
- 秋はフルバージョンでやろうと思ってます。これは10月ぐらいで、倍の100名を予定しています。参加者も企業（綾羽さんやレイマックさん）、それから、根木山さんと連携して、なかず野洲川たんけん隊。できれば立命館守山中学とか、私のネットワークを全て使ってここに集結すると。当然、行政の方にも来ていただくと。内容も、清掃活動以外に、第2部は、先ほどの目的の一つ、川に親んでもらうということで、防災かまどをつくって防災のこともやると。いろんなことをやっていきたいと思ってます。
- もう一つは樹木再繁茂対策。初めての方は分からないと思いますが、全国的に強靱化ということで予算がついて、野洲川も河道の流れをよくするために樹木を切りました。ところが、そのままほっとくと、また生えてきますので、樹木対策として幼木を伐採すると。それを住民の方にやってもらうことで、二、三年前からやっています。昨年までは11月にやりましたが、現場を見たら、3月ぐらいだと、ちょうど枯れていて非常に作業がしやすいということで、今回新しい試みとして3月にやろうと思っています。問題は人が集まるかどうかということで、ちょっと悩んでいるところです。一応、参加者はこういう予定をしております。
- それから、新しく「野洲川中流域、上流域での活動に向けた取り組み」ということで、前年度に3か月ぐらいかけて現場を全部見ました。その中でどこができるかということで、中流域（南流側帯と北流側帯付近）と上流域の野洲川運動公園の2か所についてどのような活動ができるか、関係者とまず今年は調整を行って、活動計画の詳細版をつくっていきたくて。実施はもっと後になります。再来年になる可能性があります。
- 1つは、中流部での活動につきましては、南流・北流側帯におけるの事前調整を行うということで、行政はもちろんのこと、企業——これはオムロンという会社が近くにいますので、ここについてもやっていきたいと。実は、ここは社員の方に対して必ず社会貢献をやりなさいというのがある

| | |
|------|---|
| | <p>らしいんです。そこをうまく突いて、CSR活動ということで調整に行きたいと。活動内容は、ここにつきましては河川清掃と野洲川に親しむイベント。参加対象はさっき言いましたところですね、地域住民も含めて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと、上流域での活動では、野洲川運動公園（栗東市）での活動に向けて事前調整を行政とやると。そして、内容は野洲川に親しむイベントということで、ここは三上山が物すごいきれいに見えるんです。その中で川に親しんでもらうということで、ちょっと切り口は違いますけど、そういう形のイベントをやりたいと。当然、参加対象は行政と地域住民ということですよ。 ・それで、この上流に向かっては今まで下流でやりました野洲川河川清掃のノウハウをうまく使ってやっていきたいと思っております。特にここでやる場合、先ほど根木山さんも言いましたけど、いきなり行っても「何者や？」と言われるので、ぜひ行政の協力を。具体的に言いますと、琵琶湖河川事務所の担当の方なりと一緒に来ていただいて、最初は支援していただきたいと考えております。 ・4つ目は、もう既に終わっていたやつを今年度新たにしてくれということで計画に追加しました。琵琶湖河川事務所が整備した野洲川河口部のヨシ帯について立命館守山中学校がモニタリングをやっておりまして、その支援をするということで調整をしました。事前説明会の資料もつくって説明をしております。調査はもう5月に終わっておりますが、成功したんじゃないかと思っています。 ・これらをどういうスケジュールでやっていくかというのが一番後ろにあります。4月、5月は終わりました。6月は、今現在、調整がほぼ終わっております、夏季の野洲川河川清掃をやります。あと、フルバージョンの11月、秋に向けての河川清掃の調整を7・8・9月にやります。これは住民主体に持っていこうと思っておりますので、少し調整に時間をかけます。あと、11・12月は中流域・上流域へ延びるための調整、1・2・3月は樹木再繁茂対策の幼木伐採を実施する予定です。ただ、今回新しい目標でやっております中流域・上流域での活動に向けては7・8・9月の間でやる予定をしまして、例えば行政と調整をしないあかんところは、今度、河川事務所との意見交換がありますので、そのときに、どういう支援をしていただけるかとか、どういう形で進めていくかということを相談したいと思っています。 ・ちょっと走りましたが、以上で私の説明は終わらせていただきます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、水上レンジャー、ありがとうございました。 ・では、ここから委員の皆様から意見、質問等々お伺いします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員、どうぞ。 |

| | |
|------|--|
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご説明ありがとうございました。 ・野洲川の清掃活動を長くされてきて、主体を河川レンジャーが中心じゃなく移していけるようにという課題を多分お持ちかと思いますが、何か運営上の仕掛けみたいなことを今年度設けていらっしゃるれば。まあ、段階的に難しいことであろうと思いますので、何かそういうふうなものがありましたら教えていただきたいと思います。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・それは非常に難しいんです。ただ、あるべき姿の最終段階のところは、特に琵琶湖河川レンジャーの関係は、最終目的は住民主体になっているんです。だから、そこに向けては相当時間がかかるというのは分かりましたけど、何とかやっていきたいというような思いです。 ・では、どうしていくかということで、一つの案としては、去年は結果的にできませんでしたけども、もう少し信頼関係を深めて、なおかつ、私は企業を中心にしていますので、協議会を立ち上げたときに企業の方に主体的に動いてくれないかということで——具体的に言いますと、レイマックさん。そこに主体的に動いてくれないかというのを働きかけています。実は、去年も働きかけました。ところが、なかなか難しいということもありましたけど、今年、再度トライしてみたいと思います。協議会をつくらないと、なかなか単独では難しいと思いますので。 ・当然、そのときには行政にも助けてもらわないと——住民主体ですけども、最初は行政もバックについてもらってやらないと、難しいかなと思ってます。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営と一緒に関わってもらったりするところからなのかもしれないんですが、完全に渡してしまうにはもう少し工夫や段階が必要かなと思います。でも、もうちょっと運営に入ってきてもらわないと難しいですね。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。企画の段階から入ってこないと、ちょっと難しいかなと思ってます。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。 ・以上です。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・では、ほかに。はい、平山委員、どうぞ。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご発表ありがとうございました。 ・私も北井委員さんがおっしゃったことと同じことが気になりまして、水上レンジャーがそれぞれの活動を主導しているような印象がやっぱり強くて、これを地域のものにしていくためには、地域の方が必要だというものでないと、なかなか渡せないんじゃないかなと思ったんです。そう考えると、清掃活動とか樹木の繁茂とか野洲川に親しむイベントというものが、地元の方の声がどれだけ含まれているのか、要望されているのか。ちょっと水上レンジャーが主導している印象が強いので、その辺が少し心配だな |

| | | |
|--|------|---|
| | | <p>と思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一つ、質問なんですけれども、活動内容の4ページと5ページにある1から3の取組・活動は1年に1回もしくは2回の非日常的なイベント開催だと思うんですが、これを日常的な利用促進につなげていくためにどういうふうに考えておられるかということをお教えください。 |
| | R水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・先に質問のほうからお答えしたいんですけど、ちょっと確認です。4ページの1から3というのは、清掃活動と樹木再繁茂対策、この活動を日常的にという話でよろしいでしょうか。 |
| | 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・こういうイベントを日常的に実施したほうがいいということではなくて、非日常のイベントを何回かすることで日常的な利用にどうつながるのかというところがちょっと見えないので、そこをどうしたら日常的な関わりにつながるのかということをお伺いしたいです。 |
| | R水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・非日常的というのは、例えば野洲川河川清掃とか、こういう清掃活動も非日常的という形でよろしいでしょうか。 |
| | 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、私にはそう聞こえました。1年に1回とか2回だと、日々の利用ではないかなと思ったので。 |
| | R水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・河川清掃はそういうところも考えていて、レイマックさんを例に挙げますと、レイマックさんは毎月清掃活動をやっておられるんですよ。その中で、みんなと一緒にやるのがなかなかできなくて、どうしたらいいか分からんというのが出だしたんです。確かに1年に1遍か2遍ですけども、今現在はそれをつないで。それプラス、日常的に河川清掃をされているという形で、全体でいくと、レイマックさんは年に12回も13回もやっておられると思いますので、これをうまくきっかけにできるようにしているつもりでおります。 |
| | 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・レイマックさんだけではなくて、住民さん個人の方がふらっと出かけられるような川になるというのがいいかなと思うので、何かその辺の工夫もできるといいのかなと思いました。 |
| | R水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい。そこは非常に難しいんですけど、ちょっと考えてみます。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。・・・では、私から。 ・今もお話に出たんですけど、企業さんの名前とか出てて、かなり遠回しな話をしますけど、例えば野洲川だと、浸水想定区域図が出てたり、それと立地の関係とか、そういう防災的なところも絡めた上で何かきっかけをつくって——昔、企業の水防団どうのというような話もあつたりしましたが、丘の上の高いところにある工場に何ぼそんなことを言いに行っても通じない。 |

| | |
|------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・まあ、それは住民さんにも言えることなんですけど、何かそういうところのきっかけ、「町の状況をよく知りましょうよ」的などころから何かの活動——例えば野洲川ですと、さっきも国土強靱化の話が出ましたけど、洪水のときに木が生えてたら危ないじゃないかという声は住民さんのほうから出ていると思うんですよね。「そしたら、どうしたらいいの?」というようなどころから結びつけていくと、単に呼びかけてもらっただけでなしに、「このエリアはこういう取組をしようか」とか、そういうところにつながっていくのではないかなというふうな気もします。 ・多分、事務所さんのほうでもいろいろ地元から言われて、〇〇改修促進協議会みたいなどころの出番がありますのでね。だから、そういうところでもっと関係のパートとくつつききっかけをつくれば、先ほどから出ている支援室のアシストとか、そういうところに結びつくのではないかなというふうに思って聞いていました。 ・だから、今言っていることはダイレクトにそううまくできるものではないんですけど、何かそういう条件をいろいろ見繕ってというか、探してきっかけをつくっていくというのも一つありかなというふうに思っているんです。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・今、委員長が言われましたけど、野洲川は、皆さん御存じのように、もうほとんど治水事業は完成しているから、防災のほうはなかなか出ないんですね。だから、防災じゃなくて、もう一回地域のヒアリングをしてみて、平山委員も言われたように、地域が一体何を求めているかというところもやらないと最終的には住民主体に持っていけないから、そこを出だしに、詳細計画に反映するように考えてみます。 ・ただ、国交省のほうで情報をもったら、今、流域治水に力を入れていまずので、それだったら住民とソフト対策みたいなものもできるかもしれないし、その辺のところもちよっと考えて。あと、国交省に応援していただくこともあると思いますので、それもちよっと考えてやろうと思います。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今日も組織のやつを参考資料として配っていただきましたが、今の話だと、もう流域治水課へ行けば、みんな含まれているぞという。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただ、上流へ上がるときにあんまりぎょうさん課題を持っていってもなかなかできないから、とりあえずは、私の経験から、野洲川の清掃活動、あれぐらいのテーマでいきたい。そして、それを進めていくに当たっては、平山委員も言われたように、地域の意見を聞きながらやっていって、そこへ切り替えていくような形にしたいと思っています。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域からも住民さんの要望がいろいろ出てきていると思うので、そこら辺は何かつかまえるヒントになるかもしれませんね。木が茂ってきてどうだとか。例えば、どのエリアだとか、栗東の〇〇地先だとかね。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・そこはまた出張所にもヒアリングに行かせていただきます、地元のことで |

| | | |
|------|--|---|
| | | いろいろ対応してますので。 |
| 矢野委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・事務所としては、水上レンジャーの活動を最終的には住民の方につなげるという話であれば、近畿地方整備局というか、琵琶湖河川というよりも、地元の守山市さんですとか野洲市さんとか、そちらとまず話をするべきかなと。まずその辺りで住民のニーズをつかんでいくのが一番なじみやすいのかなという気はしています。 ・だからといって琵琶湖河川が何も支援しないという話ではないんですけども、お住まいの方々は、正直なところ、国がやろうが県がやろうが市がやろうが、別にどれがやってくれても構わないのかなと思っている節もあるかと。自分の家の目の前がきれいになればとか野洲川が使いやすくなればというふうに思われると思うので、そういった点では、今、水上レンジャーがご提案いただいたものをきっかけに、市町も、当然我々としても言いますし、県のほうも一緒になって、同じ問題というか、同じ内容を共有することによってその支援の分担みたいなものも含めてやっていければ、お住まいの方もなじんでくるのかなというふうには思います。これは質問なり何なりということではないんですけども、これをきっかけにお願いしたいということでの意見です。 ・以上です。 |
| R 水上 | | <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーが市とか自治体に言ってもなかなか難しいものですから、ぜひ国の支援も一緒をお願いしたいと思います。 |
| 中谷委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・そこは、所長からもお話があったように、地元のニーズだったとしても、いろいろ地元の思いはあるんだけど、受けるほうとしては役割分担がありますよね。今、沼田委員も参加してもらっているので、その辺をうまく仕分けしつつ、住民さんは一つやから、またうまいことコーディネートして活動を進めていただければと思います。 |
| 矢野委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しになるけど、誰がやってもいいと思うんです。一番いいのは、地元にお住まいの方は、国と市と県が仲よく、うまく役割分担してやっているなというのが見えると、「ああ、行政も捨てたもんじゃねえな」と思ってくれる。それが一番理想なので、誰かが負担をしている、誰かが偏っているということがないのがベターかなというふうには思います。 |
| 中谷委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・うん、そうですね。おっしゃるとおり。 ・ただ、野洲川の中のことは国ですし、横の川のことは沼田委員さんのところだし、そういう面でもちゃんとうまく分けっこしながら。 |
| 矢野委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ええ、もちろん。 |
| 中谷委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ということで、企業さんの名前もありますし、今お話に出ているようなところを利用しながら、ちゃんとくつついていくと言うと言葉は悪いですけど、うまく関係をつくっていただくといいかなというふうなことが期待されますね。 |

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・では、方向性としてはこういう活動で進めていただくということで、皆さん、水上レンジャーの計画も承認させていただいてよろしいですか。（「はい」との声あり）ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。 |
| R 水上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。（拍手） |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、福西レンジャーの発表をお願いします。 |
| R 福西 | <ul style="list-style-type: none"> ・よろしく申し上げます。河川レンジャー2年目の福西健太と申します。 ・テーマは、「瀬田川を愛する人々が、安全・安楽に共存できる川づくり」を挙げさせていただきました。 ・瀬田川は、自然と観光資源があり、地域住民や観光客の憩いの場となっています。去年同様、瀬田川を利用している人々にとってとても有意義に、使いやすい、愛のある河川を目指して活動させていただきたいと思えます。 ・ただ、活動していく中で、瀬田川を利用している人々にとって一部の釣り人の行為が迷惑になっていることがあるのは事実です。路上駐車もあり、生活している住民にとっては通行の妨げになっています。今年も2件ほど路上駐車を発見しており、トラブルにならない程度に声かけなどをして介入させていただきました。 ・去年は「応急手当と水難事故発見時の対応」ということで講師を呼んでウォーターステーションで実施させていただいたんですけども、その講師の上平氏が水難事故の勉強のためにドイツ留学に行くということで今年から2年間ほどできないので、違うテーマとしまして、近年全国でも問題になっている外来水草問題のオオバナミズキンバイにフォーカスを当てて、瀬田川でも確認できる状況でもあるため、挙げさせていただきました。 ・ビジョンとしましては、①瀬田川を利用する人々の思いを行政につなぎ、問題解決方法を探っていきます。②瀬田川が地域住民と観光客の安全・安楽に過ごせる場所になるよう、ごみやマナーの面から課題を把握し、住民や利用者と景観保全を図る仕組みを検討していきます。③先ほど述べたオオバナミズキンバイの生態を知り、実情を把握していきます。今年1年間は、生態を知り、実情を把握することで次のステップにつなげていければと考えています。 ・ミッションとしまして、①瀬田川を利用する人々と信頼関係を築き、川に対する思いや課題を引き出していきます。②瀬田川の美化・清掃活動をSNS、主にTwitterなんですけども、それを利用して参加の呼びかけを積極的に行い、活動時に気づいた景観やマナーの具体的な課題を把握していきます。そのときに一言メモなどを使用して参加者から瀬田川への思いやニーズを引き出すとともに、一緒に考える機会をつくっていきたく思います。③積極的にオオバナミズキンバイの勉強会や専門的識者から情報を |

得て駆除できる機会をつくっていきたいと思います。これは今年1年目になりますので次のステップに入っていくかとは思いますが、そういうことも考えております。最後に、大切な4番、①②③を通じて把握した思いや課題を行政などにつなげていきたいと思います。

- 成果目標としまして、「(1)瀬田川利用者の実態とニーズの把握」ということで、瀬田川を利用している人々に積極的に会話をし、存在を知ってもらい、信頼関係を構築するとともに、利用者に質問調査を行い、瀬田川への思いや課題を把握していきます。私自身、釣り人でもあり、ライフジャケットの重要性はしっかりと理解しているので、安全利用の観点から、釣り人へのライフジャケット着用を啓発していきます。瀬田川は釣り人も多く、有名スポットでもあるので、ライフジャケットを着用していただき、安全に楽しんでいただけたらなと思うことから、これを挙げさせていただきました。

- 「(2)景観保全やマナー面から見た課題の把握」ということで、活動予定をSNS上に載せて呼びかけを行い、瀬田川を利用する人々と一緒に清掃活動を行うことを試みていきます。年2回、7月と1月に予定を立てています。7月に予定を立てた理由としましては、熱中症対策として、とても活動しやすい時期なので、7月を選ばせていただきました。1月に関しては、地域住民の方からの意見をいただいたんですけども、年度末でもなく年末でもなく、1月は時間に余裕があるのでこの時期がいいという意見をいただいたので、1月を挙げさせていただきました。参加人数は30名程度で考えており、人数制限を設けようと思っています。「第1回地域住民と釣り人をつなぐ清掃活動」のときには30名ほど集まっていたいたんですけども、ごみの分別とか記念撮影などをするとき、20秒ほどなんですけども、遊歩道を塞いでしまった時間があって、ウォーキングの方の足を止めてしまったという反省点などもあるので、これ以上人数を増やしてしまうと利用の妨げになると思ったので、この30名という人数に設定させていただきました。あと、漂流ごみや生活ごみ、レジャーで出たごみを収集し、瀬田川の課題を把握していきます。

- 3番の「オオバナミズキンバイの課題の把握」につきましては今年からの試みになるので、説明させていただきます。現在も活動を行っているんですけども、ウォーターステーション左岸を北上して全体を把握していている状況であります。80センチ×60センチの自身で作成した瀬田川のマップがあるんですけども、オオバナミズキンバイの繁殖を確認しているところに赤シールを貼っていつておりまして、3か月ごとに繁殖状況を更新・報告していく流れとなります。来月には一度河川レンジャー報告書のほうで報告させていただきたいと思います。あと、利用者に質問調査を行い、オオバナミズキンバイの知識や理解度について聴取していきます。聴取す

| | |
|------|--|
| | <p>る内容については、繁殖している実物をその場で見てもらい、「オオバナミズキンバイは特定外来生物と知っていますか」という内容を考えています。質問をして得た返答は、活動中にメモノートを持っていますので、そちらに記入していきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと、4番、「瀬田川の利用者の把握と、行政等との共有」ということで、先ほど述べた(1)(2)(3)のことを行政などに共有していきたいと思います。 ・ちょっと足早にはなったんですけども、僕からの発表は以上となります。ありがとうございました。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、発表ありがとうございました。 ・では、委員の皆様から質問、ご意見等をお伺いします。どなたからでも結構ですので、どうぞご発言ください。 ・はい、沼田委員、どうぞ。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明ありがとうございます。 ・今年からオオバナミズキンバイの取組をしていただけるということで、このオオバナミズキンバイは、言われるとおり、非常にすぐに広がっていくということで大変課題になってます。漂着してすぐに広がるので早期発見・早期駆除というのが重要になってくると思うんですけども、ただ、それを駆除した後の処理。基本的に焼却処分になってたと思いますので、今年の実態を知って実情を把握するということですけども、今後の処理についても検討というか、進め方も含めて取り組んでいただければというふうに思います。よろしくお願いします。 |
| R福西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ほかにいかがでしょうか。 ・釣り人さんとは、日頃のネットワークといいますか、それがうまくできているということですか。 |
| R福西 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。結構、河川レンジャーというものに興味を持っていただいてまして、SNS上でつながった中に疑似餌をつくる方がおられて、ルアービルダーと言われる人ですけども、その方が清掃活動で落ちてたり捨てられてたりしたルアーを回収されて、リペイントというか、色を塗ったものにストラップをつけてルアーキーホルダーというものを作成して下さって、河川レンジャーの活動のときにお子様釣りなどで楽しんでおられたらぜひ配ってくださいということで20個ほど寄附していただきまして、今後、子供たちがおられたら、それを配らせてもらおうかなと思っています。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・そこを通じて「捨てるな」というところへうまく広がるといいと思います。 ・あと、福西さんはレンジャーとして動いてもらってますけど、今の釣り人さんの仲間もあるけども、例えば途中に大学のボートクラブがありますよ |

| | | |
|------|--|---|
| | | ね。その辺との接触というのはどうですか、日頃動いておられて。 |
| R福西 | | ・去年は夕方に活動させていただいてたんですけども。 |
| 中谷委員 | | ・ああ、そうかそうか。時間的に合わないですね。 |
| R福西 | | ・はい。挨拶させていただいて名刺もお渡ししたんですけども、特に、不満とか、そういうのはなく、これからもよろしくお願ひしますということで。あと、監督様からもそういうお声をいただいたので、交流はできていっている状態ではあると思います。 |
| 中谷委員 | | ・「たまには参加してよ」的なことも言っていただいたらというふうに思っ てまして。まあ、日頃歩いてもらってて、関係する人にうまく接触して もらっているのはいいなと思っております。 ・ほかの委員さん、いかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。 |
| 平山委員 | | ・ご発表ありがとうございました。 ・2点ありまして、資料の8ページの2(2)で清掃活動行事の企画・実行 というのがありますが、事務所さんのほうでも瀬田川一斉清掃をされてい るかと思ひます。それが大規模で、範囲も広いので、清掃に参加した方に瀬 田川をどう思うとかか課題を問ひかけるということであれば、瀬田川一斉 清掃に参画させてもらって、そこで声を聞き取るというのは効率がいいか なと思ひました。実は、私が河川レンジャーをしたときはそういうふう に関わらせていただきました。当日声を聞くだけということだけではなく て、企画の段階から関わらせてもらって、聞き取った声を事務所さんにお 返しするということもやってたので、比較的簡単にできるかなと思ひま す。よかったら、そういうものを活用することも検討してください。 ・もう一つ、その下の「オオバナミズキンバイの課題の把握」で、これを知 っているかというふうに尋ねると書いているんですけども、聴取の方法 として、「知っている」と答えても正しく知っているかどうかというのは 分からないと思ひますので、正しく知っているかどうかを確認する必要が あるかと思ひます。例えば「これが何か分かりますか。知ってますか」と いうふうにきちんと正確に正しく分かっているかということを確認する のと、その次に、「これって、最近よく見えますか」とか、広がっている認 識がどのようなかとか、その状況をどう思っているか。別に気にして いないのか、最近すごく増えてきて困っているとか、そのような意見とい うか、住民の方がどう見ているのかという声を集められれば面白いかなと 思ひました。よければ、ご検討ください。 |
| R福西 | | ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | | ・はい、ありがとうございます。 |
| 矢野委員 | | ・今、平山委員がおっしゃられてたように、瀬田川一斉清掃の話については 支援室にも情報提供してますし、支援室も協力させていただいているという |

| | | |
|--|------|---|
| | | <p>ことなので、事務所からあえてというふうな話ではなくて、支援室のほうからも情報提供されるのかなと。今月は琵琶湖一斉清掃も開催されるということで、これは6月18日でしたよね。だから、その辺でいうと、それと一緒に関連していければなど。この辺りというのは地域で清掃活動をいっぱいやられているので、大分意識が高いので、そういったものを一緒にやっていたらいいかなと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオバナミズキンバイも同様で、瀬田川流域一斉清掃ということで、似たような名前なんですけども、瀬田川の漁協が例年四、五回やってごさいます。先般ですと、5月25日。私どもがやっているわけじゃないんですけども、漁協のほうが県の補助を受けたりしながらやって、5月25日にやったときは2.2トンほど取れたと。私も毎年参加させていただいているんですけども、今回は参加しなかったんですが、例年に比べて半分ぐらい。結構少ないなという話をしてますので、そういったところで、先ほど繁殖マップをつくっておられると言われたんですけども、25日にやりましたから大分減りますよという話と、この6月の25日もやると言っているの、ちょっと急な話ですけども、一緒に参加させていただいて、どんなものかというのを見ていただければなというふうなことですね。 ・ちなみに、事務所としましては、先ほど県のほうからもご意見がございましたように、事務所のほうで何もしてないというわけじゃなくて、当然実動も行っているんですけども、ちょうど大津放水路の出口のところに仮置き場を設けてまして、あそこに仮置きをします。そこでしばらく乾燥させた後、焼却処分にするという手続を取っておることなので、まずは、オオバナミズキンバイはなかなか難しいところがあるので、大がかりなものというよりも、そちらのほうからちょっと様子を見ながらターゲットを絞っていくか。 ・実際は、瀬田川洗堰より上流側をメインにやってごさいます。ただ、上流だけが瀬田川かという、そうじゃなくて、下流も瀬田川ですし、そちらのほうの課題というのは大石学区がいろいろと段取りをやってきてますので、そこと協力していくということもあります。 ・今のお話は情報提供も含めてアドバイスのところかなと思いますので、そういったことも参考にさせていただければと思います。 ・以上です。 |
| | R福西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。 |
| | 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・着実にいろいろ流域のヒアリングをされて、清掃活動を実施していけるよというの、まずは目標かなというふうに思ってます。 ・オオバナミズキンバイは、皆さんおっしゃられているみたいに、特定外来 |

| | |
|------|---|
| | <p>だからやったらあかんこととかもいろいろあるので、もう収集されてたらいいんですけど、まずは情報をきちっと把握されて取り組まれるのがいいのかなというふうに思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早期発見・早期駆除」と沼田委員もおっしゃられて、私も漂着したちっちゃいものを見分けろと言われたらよう分からんなと思っているんですけど、本当にそういうのを取ったら少しの力で減っていくという話は聞いたことがあります。沿岸で取り組むならそういうことからということに最終的にはなるのかなとも思いますし、そんな働きかけなどもできたらというふうに思います。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ちょうど石組みのところに入るので、我々も行くときは胴長を履いて行ってます。大分重装備しないといけないので、そういったところも注意していただければと思います。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・では、お話を伺いましたが、今出たようなところも気をつけていただいて頑張っ活動していただければと思います。活動は承認させていただきますので、よろしくお願ひします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・では、続きまして、野村レンジャーからお願ひしたいと思ひます。 ・お手元の資料ー5の12ページからになりますけれども、別途説明資料をご用意されておりますので、画面のほうもご確認ください。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆様、こんにちは。今年から河川レンジャーになりました野村です。初めてですので、今年度の活動について、問題意識の背景や内容についてお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。 ・まず、川がテレビやインターネットで話題になるのは、淀川にクジラが流れ着いたとか水害の被害が発生したときだと思います。昔は、生活や産業など、川は私たちに大変密接に関係してひて、みんなにとって大変重要な場所だったと思ひます。それがだんだん自然から離れた生活をするにつれ、人々は川から疎遠になってしまいました。私もそうです。しかし、川の水というのは人間の生活の基盤を支え、産業の重要な資源であるという点は今でも昔でも変わりません。また、洪水の危険が発生したときにいち早く安全な対応を行うためにも川のことをもっと知る必要があるのではないかとふだん考えています。 ・私は北部の長浜市に居住しておりますが、川の状態を見てると、私たちの生活の様子分かるなと感じておりまして、瀬田川ではそのことが一層よく分かるのではないかなと思ひて、関わっていきたい、ぜひ河川レンジャーになりたいと思ひました。 ・この写真はの間行きました天ヶ瀬ダムのだま湖の様子なんですけど、そこでは「このごみを瀬田川や琵琶湖で取り除いてくれはったら、そんな汚 |

| | |
|--|--|
| | <p>くならへんのに」というようなことを聞きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーの開始に当たって、瀬田川でのニーズをつかむために、ぐるりさんぽ道を歩いて、出会った人からお話をいろいろ聞きました。写真のように大変美しい景観で、歴史ある名勝が数多くあって、憩いの場になっていることを私も感じています。 ・ここは住宅地の中なんですけれども、豊かな自然を感じることもできました。4月なんですけれども、ヨシの新芽が伸びてきていたり、トンボの羽化に立ち会ったりもしました。このアルビノのカルガモなんですけれども、この鳥に会うためにいろんなところからわざわざ野鳥を見る方たちが来られている、アイドルみたいな存在だったそうです。私はたまたま見ました。 ・そして、水上レンジャーにお世話になったんですけれども、洪水に悩まされてきた地域であり、水との闘いの歴史を物語る遺跡がたくさん残っています。今も治水の努力というのは続いていることが分かりました。 ・瀬田川を歩きながら、川が市民にどのように利用されているのかをカウントしました。右岸・左岸ともに、たくさんの方がレクリエーションやご自身の健康づくりに利用されていることが分かりました。 ・出会った方からいろんなお話を聞いているんですけれども、「ここは穏やかで住みよいところです」とか「ほかから来られた方から『いいところね。うらやましいわ』と言われる」というようなことを伺いました。一方で、新興住宅地とともに移住されてきた方が多くて、高齢化が進んできてます。それで地域の活動がだんだん難しくなっているんだという話も聞きました。 ・漁師さんからは、環境が変わり、昔のように魚や貝が取れなくなったこと、後継者がいないこと、「まるで陸に上がったかっぱだ」と嘆かれる声を聞きました。それから、学校の環境教育に協力されていることや先ほどお話にありました外来水草の刈り取り、川底をかくという環境保全活動をされていることも分かりました。そして、河川管理者と話し合う場が欲しいんだというふうにも聞きました。 ・以上のことから、私の河川レンジャー活動の目的を「瀬田川の特徴を理解し、価値に気づき、先人の暮らしの営みや努力を知ることによって行政と流域住民がともに川の姿を自分ごととして捉え、川を守り育てる意識と行動を引き出すこと」と設定しました。このことで防災や効果的な利水につながるものとも考えます。 ・それで、今年度ですけれども、まずは子供たちの意識を育てることを目的とした親子クラブ「瀬田川たんけんたい」を立ち上げたいと考えています。子供たちが瀬田川に関わる様々な価値ある体験を通して川のよさに気づき、愛着を持ち、川について語れるようになることを目指します。子供た |
|--|--|

ちが思いを発信することで、家庭や学校、地域に思いが広がることを期待しています。活動では、この地域が持つ自然環境や土木遺産、地元の先生など、適した教育資源を見つけ、生かすように努めていきます。同時に、様々な方との関係づくりも進めていきます。また、取組の効果を高めるため、学校での学習との関連を整理し、基礎的な資料として活用したいと思っています。

- 予定している活動内容についてご説明します。6月から7月に活動の広報と団員、レンジャートライアルの方々へのスタッフの募集などを行いたいと思います。そして、瀬田川近隣の学校への案内を配布したり、ウォーターステーションのホームページへ案内を掲載する予定です。活動は7月の末から来年2月にかけて2か月に1回程度を予定しており、Eポートを使っての川の安全・防災学習、石アート、河床の観察、水鳥の観察会などをしたいと思います。2月には活動報告会を行う予定です。河川事務所や支援室の協力、ご支援をいただく中で安全に活動していきたいと思っています。
- 活動の実施に関わってですけれども、応募方法はインターネットの専用フォームからメールで応募してもらうこととし、多数の場合は抽選とします。様々な方の協力を得られるように連絡調整を行います。子供たちが自主性を発揮し、コミュニケーションが取れるよう、働きかけます。活動後にはごみ拾いなどを行い、周辺環境への意識を高めたいと思います。振り返りの時間を持ち、参加者と相互の気づきを共有します。また、「水辺の匠」イベントなどでそのような活動の様子を発表したいと思います。このようなことに注意をして実施させていただきます。
- 今のところ、つくっている「瀬田川たんけんたい」の募集案内（案）です。配布先には、瀬田川近辺の石山小学校、大石小学校、南郷小学校、滋賀大附属小学校を予定しています。また、南郷公民館や大石コミュニティセンターにもお配りしたいと思います。ウォーターステーションやアクア琵琶、河川事務所、南郷水産センターには案内のチラシを置かせていただきたいと思っています。
- ところで、たんけんたいの活動で対象となる小学生の学習内容というのは学習指導要領によって規定されています。そこで、要領における川に関する記述を整理した関連表を作成し、効果的な活動になるよう、基礎的な資料として活用したいと思っています。
- レンジャー活動の工程計画は表のとおりです。出てきた気づきや課題は、支援室と共有しながら進めてまいりたいと思います。
- 今年度はこのようなことを考えております。教科書は来年度で全部変わりますので、それを拾っていきたいと思います。
- このような活動で川の理解を進めることで、川に対し、愛着を深めるようになり、自分ごととしての意識が高まり、行動が変化すると考えています。

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・以上で説明を終わらせていただきます。計画を了承いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、野村さん、発表ありがとうございました。 ・では、今、発表いただきましたが、委員の皆様から質問等をお伺いします。どなたからでも結構ですので、どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員、どうぞ。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・発表ありがとうございます。短期間でしたけど、いろいろ構想をまとめてくださったんだなと拝見しました。 ・いろんなどころと連携を取りながらということ、一つ、瀬田川たんけんたいの企画をするということですが、河川事務所さんとはどんな関わり方があればいいと思っていられるかなと思ひまして、イメージされていることがあったら、お伺いできたらと思います。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・まずは、Eポートとか河床の観察とか、実際に川に入ってというところを考えていますので安全のほうでご支援いただけたらありがたいなと思うのと、それから、私、あんまり専門的な知識ありませんし、河川事務所さんが持っておられるものの扱い方とか、そういったものについてもこれからご依頼させていただこうと思っているところです。よろしくお願いいたします。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・じゃあ、計画に応じていろいろと、指導というか、教えていただけたらという感じですかね。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい。そして、子供たちに対しても、洗堰の仕組みとか、そういうのもお話しいただけたらと思っています。 |
| 北井委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご発表ありがとうございました。 ・確認なんですけれども、瀬田川たんけんたいは親子で参加するのですか。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうです。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・こういう子供さん対象の活動をされてきた経験があるということですのでよろしいですか。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフとしては関わってきました。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ここに書かれている観察会とか魚釣りというのが、何かを教えるというよりも、子供が主体的に調べたり、何か感じたりすることでその川をもっと知りたいと思うようなきっかけになるといいなと思ひました。河川レンジャーの活動として実施するので、ほかの観察会とか、ほかの魚釣りとは違って、川とのつながりをずっと持ってほしいというような、そのつながり、コーディネートをするところを大事にいただけたらなと思 |

| | |
|------|---|
| | <p>いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一つ、2つ目の学習指導要領の関連表作成というところなんですけど、これは、瀬田川たんけんたいで実施されたことが学習指導要領ではどこの位置づけになるのかということを整理されるというイメージでいいんですか。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・私もそうなんですけれども、この子たちは知識としてどこまで知っているのかなとか——小学校の勉強というのは、多分、人としての基礎的な知識とか感じ方とか、そういうものの一番ベースになってくるところだと思うんです。それで、どういうところまで知っているのかなとか、どういうところを疑問に持つのかなとかいうことを、私も含めて、これから河川レンジャーの活動に関わるいろんな人たちにも使ってもらえるような系統表みたいなものをつくっておくと便利かなと思ったんです。自分が今までいろいろ組み立てる中でそういうことを一々確認してきたので、あったら便利だなと思いました。 ・それで、来年変わる教科書を見たときに、今まさに検定が終わって公開されているんですけど、「上流のことがあんまり書かれてないじゃない」とか「利水のことばかり書いているな」とか、いろいろ気づきがあって、それをこっちがつかんでいることで子供たちに対する言葉かけなんかも変わってくるのではないかなと思いました。 |
| 平山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。この活動がきっかけとなって瀬田川のいろいろな活動の輪が広がっていく、そういう材料になるといいなと思いました。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご説明、どうもありがとうございます。 ・まず情報提供ということで、水辺の匠につきましては、今、7月23日（日）に予定をしています。去年は1回、11月ぐらいにやっています。それは新型コロナの対応ということで年1回だったんですが、今年から平常に戻して年2回やるということで、ちょっと急な話ですけど、1か月後ぐらいなので予定もなかなか立てにくいとは思いますが、もしできれば参加して様子を見ていただければ参考になるのかなというふうには思います。 ・先ほど北井委員から話もございました事務所の支援というところに関しては、支援できるようなこともあって支援室というのを設けておりますので、最初は支援室のほうに聞いていただくということかなと。先ほども報告がありましたように、7月10日に研修がありますので、そこでしっかりできること・できないことを確認していただくことがまずはスタートかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。 |

| | |
|------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・あとは感想になりますけど、まだ最初ということでいろんなところが未知数というところでは私も非常に楽しみにしております。いろんな形で情報提供いただければ、我々もできること・できないことをご助言できるかなと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。 ・私からは以上です。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、沼田委員、どうぞ。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明ありがとうございます。 ・なかなか親子が取り組める活動というのは少ないと思ひますので非常にいい取組だと思ひんですけど、今年度は10組ということになってますが、今後増やしていくとか、そういったことも考えておられるのかどうか、教えてください。 |
| R野村 | <ul style="list-style-type: none"> ・広げられたらいいんですけども、今年度やってみて、いろんな方とのつながりの中で考えていきたいと思ひます。 ・今年は、私が全然知らない人と付き合うことになるので、クラブという限られたものを立ち上げました。もし「いつもいろんな方とお出ひさせてもらって、いろんな気づきを」というふうに変えれば、将来的にクラブを解散して、その都度ということになるかと思ひますが、まずは子供たちの意識がどう変わるかということを知りたいので、とりあえず2年間はたんけんたいをしたいです。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・今、お話がありましたが、うまく発展していくといいなということと、あと、実務的に思ひんですけど、10組20人ぐらい、そこそこ来るわけですけど、例えばスタッフをどうするかとか。場面場面によって違うと思ひし。あと、こういうふうにしたらいいねという部分も当然あったらいいと思ひんですけど、せつかく子供が来るんだったら、安全なフィールドだったら好きなことをさせて何かを気づいてもらうとか、そういう方面のこともありかなと思ひて。今、自由に勝手に泥んこになったり、川の中でバシャバシャやったりというのはなかなか難しいので、その辺も考えていただければ。 ・そういう中で系統的にいろいろ考えてもらってますので、事務所あるいは支援室のアシストを期待しながら頑張っただけければと思ひます。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・レンジャートライアルも今5人登録していただけてますから、その協力も仰ぎながら、そういったことをしていただければいいのかなというふうには思ひます。まあ、その辺りは支援室にまずは聞いてみるというところからかなと思ひます。 |

| | |
|------|---|
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・というお話を所長である委員からいただきましたので、安心して取り組んでいただければと思います。 ・今、委員の皆様からそれぞれお話を聞きましたけど、出たところを酌んでいただいて、安全には十分注意しながら取り組んでいただければと思いますので、計画はまずこれで承認させていただくことにします。よろしくをお願いします。 |
| △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・すいません。事務局の都合もありまして進行が遅れておりますが、最後、西島レンジャーの活動の説明を動画で紹介させていただきたいと思います。7分ぐらいの映像となっております。よろしくをお願いします。 |
| R 西島 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆様、初めまして。本年度より琵琶湖河川レンジャーとして任命いただきました西島昌宏と申します。 ・まずは、本日、仕事の都合上、委員会に出席できなかったことをおわび申し上げます。今回は、このような形で事前に撮影いただいた動画にて年間活動計画の発表をさせていただきます。併せてご了承のほど、よろしく願いいたします。 ・私は「『また来たくなる瀬田川』を目指して」というテーマにて活動をさせていただきたいと考えております。 ・瀬田川を歩きますと、本当に様々な目的を持って瀬田川を訪れている方と出会います。散歩ですとかランニング、もちろん観光の方ですとか、漕艇部の練習をされている方、また釣り人の方。そして、その目的も本当にばらばらで、いろいろな人たちが「また来たい」と思っていただけのような瀬田川環境づくりのお手伝いがしたいと思って今回のテーマとして設定させていただきました。 ・では、多くの方にまた来たいと感じてもらえるにはどのような瀬田川であるべきか、どのような状態ならまた来たいと感じていただけるのかと。私は、安全できれいな瀬田川であるべきだと考えました。しかし、残念ながら、瀬田川を歩くと、現状、生活ごみですとか釣りのごみ等々、本当に様々なごみが落ちています。ごみは、もちろん景観を大きく損ねるだけでなく、人間にも野生動物にも危険因子につながりかねないものだと考えております。 ・そこで、「安全で綺麗な瀬田川」というビジョンを最優先とした3つのビジョンにて年間活動計画を作成いたしました。 ・まず1つ目は、今もお話しさせてもらったとおりなんですが、安全できれいな瀬田川を目指すために、人を集めて、人とともにごみを拾って、参加者みんなでごみ問題を意識してもらえるようなイベントを実施したいと考えております。 ・イベントの開催場所は、唐橋エリアを選定いたしました。理由としまして、 |

歴史あるエリアであるため、瀬田川の中でも観光客の方が一番多いエリアだと認識しております。初めて観光で瀬田川を訪れた方にも「瀬田川はきれいだっただな」と感じていただけることが非常に大事かなという思いもあって唐橋エリアを選定いたしました。また、地元の方も本当に多く行き交うエリアですので、ごみ拾いイベント当日もいろんな方にイベントをしている状況を見ていただける可能性が高いかなと思ひまして、ごみ問題の意識向上の相乗効果も狙えるのではないかと判断しまして唐橋エリアを選定いたしました。

- ・次に、実施目標の2番は「瀬田川の有効活用を目指す為の情報収集」ということで、実際に瀬田川に足を運んで、現状利用される方とのコミュニケーションをよく図りながら、隠れたニーズや隠れたご要望というものを具現化いたします。そのために専用のアンケート用紙を作成しまして、そのアンケート用紙をもってデータの蓄積を行って情報の精査につなげていきたいなど。あと、フィードバックすべき情報は全て行政のほうへフィードバックできるように随時報告を上げていきたいと考えております。
- ・3つ目のビジョンはイベントの開催になるんですが、瀬田川に行ってみようと思えるようなイベントを開催したく、長期ビジョンとして挙げさせていただいております。こちらに関しては、初めて瀬田川を訪れる機会を創造できるようなイベント、マルシェのようなものを考えておりまして、こちらは従来のモデルケースなんかを確認しながら、コネクションづくりもかなり必要かなと思っておりますので、長期的なビジョンになるんですが、並行して進めていきたいと思っております。
- ・一応、今までの3つのビジョンをもって今年度の活動計画として活動していきたいと考えております。
- ・それでは、ここからは3つのビジョンの対象と工程計画についてご説明をさせていただきます。
- ・まずはごみ拾いイベントなんですけれども、こちらは、対象といたしましては、日頃から瀬田川を利用されている皆様です。なるべく地域住民の方も参加いただけるようなイベントにできればなと思うところがありまして、Twitter等を活用しながら募集を行って清掃活動をするというような予定にしております。計画といたしましては本年10月と来年3月の2回の実施を予定しておりまして、開催日の約2か月前からSNSにて告知を行って参加者を募って実施をしていきたいと考えております。
- ・2つ目の情報収集なんですけれども、こちらに関しては、対象としては瀬田川で出会う方。一人でも多くを対象にしていきたいと思っておりますので、一日でも多く現場に出て多くの方とのコミュニケーションを図りながら情報を収集していきたいと考えております。
- ・3つ目のイベントの開催なんですけれども、こちらは長期ビジョンのイベ

| | |
|------|--|
| | <p>ントになっているんですが、対象といたしましてはやはり日頃から瀬田川を利用する皆様と、プラスアルファ、このイベントを目がけて初めて瀬田川に来てくださる方を何とか取り込むようなイベントにできたらなというふうに考えております。イベントに関しましては、計画として、来年度の開催を目指しております。ですので、今年度は基本的にはコネクションづくりがメインになるかと思うんですけども、団体ですとか、各方面と定期的に継続したコミュニケーションを図り、しっかりとしたコネクションをつくっていくということに今年度は当てたいと考えておりまして、このような工程計画となっております。</p> <p>・以上です。</p> |
| △中西 | <p>・以上が動画となっております。</p> |
| 矢野委員 | <p>・どうしたらいいんですか。</p> |
| 中谷委員 | <p>・難しいですね。</p> |
| △中西 | <p>・コメントがございましたら。</p> |
| 矢野委員 | <p>・いや、そのリアクション次第で承認する・しないという話になるんじゃないですかね。みんな、コメントしづらいですね。言っても言ったきりになって、その回答がないのに判断がしづらいというのが現状かと思えますよ。</p> |
| △中西 | <p>・そうしましたら、レンジャーさんに計画の意見をお返しして、それに対して修正なり。</p> |
| 沼田委員 | <p>・ということは、承認は後日ということですか。</p> |
| △中西 | <p>・後日という形になります、一旦保留ということになるので。</p> |
| 中谷委員 | <p>・多分、集まる機会というのはそうないので、今日皆さんからコメントなり質問が出たら、それを集約して本人さんに伝えていただいて、例えば今出してもらっているものを踏まえてどうこうしたというのを出示してもらって、それをみんなで共有して、その上で判断すると。</p> |
| 北井委員 | <p>・メールか何かですかね。メールなどで。</p> |
| 矢野委員 | <p>・ええ、もう一回メールとかで。その方法でいいんだったら、そういうふうなことを提案して、それでいいかというのをちゃんと委員含めて了承した上で進めないと、今「どうしましょう？」と言われても困るんですよ。西島さんもこれでコメントした意味が分からなくなってしまうので。</p> |
| △中西 | <p>・はい、そうですね。そしたら、事務局から助言という形で。</p> |
| 矢野委員 | <p>・だから、「助言してこういうふうにする」というのを事務局が言わないと、委員は「はい」とか「いいえ」を言えないですよ。</p> |
| △中西 | <p>・そうですね。ここでご助言いただいたことを西島レンジャーさんにお伝えして、それをもってお答えいただいた内容を今度は委員の皆様にもメール等で共有して、了承いただけるかという案内をかけさせてもらおうと。そこで</p> |

| | | |
|------|--|---|
| | | 委員の皆様にご了承いただけたら計画承認ということでいかがでしょうか。 |
| 中谷委員 | | ・はい。今も事務局からお話がありましたが、いろいろ質問とかもあろうかと思しますので、そういうところを委員の皆様からお伺いし、それを伝えてもらって、その上で計画を変更するなり付け加えるなりしたものを委員で共有し、その上で判断ということですかね。 |
| △中西 | | ・はい。 |
| 中谷委員 | | ・ウェブ参加の平山委員、沼田委員、いかがでしょうか。 |
| 平山委員 | | ・それでいいと思います。 |
| 沼田委員 | | ・私もそれでお願いしたいと思います。 |
| 中谷委員 | | ・では、事務局にはご意見等を控えていただいておりますということを進めさせていただきます。 |
| △中西 | | ・はい。 |
| 中谷委員 | | ・では、どなたからでも結構ですので、いかがでしょうか。 |
| 平山委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・西島さんのみに対するコメントではないんですけれども、私の河川レンジャーの活動イメージというのは「イベントを開催する人ではない」ということと、所長を前にしてあれですけど、「河川事務所のやってほしいことをする人ではない」と思って活動を見えています。 ・もちろん、河川事務所との問題の共有ができれば、そこは一緒に実施しやすいと思いますので進めればいいのかと思うんですけれども、「イベントを開催するのではない」というところはちょっと譲れないです。それを考えると、イベントをすることによってその先に何かあるのかということまで見据えた計画を立てていただきたいということと、マネージャーにその辺をサポートしていただきたいと思います。 ・西島さんの活動計画の中でやっぱりイベントの開催で終わっているものがちょっと目立つような感じがします。イベントの開催が主目的ではなくて、その開催によって参加者の方の声を把握するというのであれば、既にあるイベントとか地域の集まる機会を利用してできることもあるんじゃないかなと思うので、その辺をちょっと注意いただいて活動を進めていただければと思います。 |
| 中谷委員 | | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。北井委員、どうぞ。 |
| 北井委員 | | ・平山委員のおっしゃられることに納得というか、賛同します。情報収集のアンケートをされることについては、レンジャーミーティングなどで吟味されて内容を——先ほども聞き方でいろいろ得られるものが変わっていくことで平山委員からのアドバイスが福西レンジャーのときにありまし |

| | |
|------|---|
| | <p>たけど、大いにあり得ると思うので、どういうものを得たいかを前提に設 間を設定されるように工夫していただきたいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それから、マルシェを開催するというので、マルシェをどういうために 開催したいのかというのをまずは自分の中で位置づけて進めてもらえたら らと思います。今年度は、出展者のアプローチとか、どなたが出展される かに意識が大きく置かれているかなと思うんですが、次年度に実践するに しても、どこでするかとか、マルシェというのは結構周りのいろんな状況 を整理しないと開催できないと思うので、もしかすると、出展料だとか保 健所がどうこう等々、そういうふうな周りの設定、いわゆる開催要項みた いなのをどういうふうに設定していくかというところまで下準備として は考えていくほうがいいのかという気がしました。なので、ちょっと段 階的にどうやったら実現するかというのを詰めていただけたらいいかな と思います。仕事をされながら一気にやろうというのもなかなか難しいと 思うので、有意義にコネを使っていただけたほうがいいのかと思います。 • 以上です。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> • はい、ありがとうございます。 • ほかにいかがですか。 |
| 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> • 私も平山委員、北井委員がおっしゃられてたようなことでして、イベンタ ーではない。さらに、「今年度はコネクションをつくる」と言ったときも、 プロデューサーではないので、コネクションをつくることに関して全く異 論はないですけども、「何のために」ということを、河川レンジャーとし てのコネクションというところに力点を置いてやってほしい。そこは、先 ほど来申してますように、支援室のほうと、初回の研修とか、そういった ところできちっと共有していただければなと思います。そこはちょっ とお願いというふうなところになります。 • 私からは以上です。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> • はい、ありがとうございます。 • ほかにいかがですか。沼田委員、どうぞ。 |
| 沼田委員 | <ul style="list-style-type: none"> • 私も同じ意見なんですけど、やはりイベントのその次を見据えた計画とい うのが大事だと思いますので、そこの部分を見せていただければなと思 います。 • 以上です。 |
| 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> • はい、ありがとうございました。 • 今、委員の皆様からお話を伺いました。要は、何のためのイベントである かというところを押さえていただくと。あと、ごみ拾いイベントとか、さ っきも、10月には一斉清掃があるよとか、いろいろありましたので、その 辺の組合せといいますか、要はこの位置でいいかどうかとか、その辺も含 |

| | | |
|--|------|---|
| | | <p>めて、ほかに計画されていることを踏まえながら、どうすれば有効かというところも考えて工程をつくっていただくといいのかなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ということで、今、委員の皆様からいただいた意見をまとめて伝えていただいで、後また返していただくと。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい、分かりました。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、委員の皆さん、そういうことでまた配信されますので、よろしくお願ひします。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・それでは、5名のレンジャーの皆様の計画についてご審議いただきました。対面で参加いただいた4名の方につきましては計画が承認されたということで、ありがとうございます。西島レンジャーにつきましては今後また連絡いたします。 ・それでは、審議につきましては以上でございます。 |
| | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様、ありがとうございました。少し時間が超過いたしました、審議のほうはこれまでとさせていただきます。 |

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|---------------|------|---|
| 5. その他 | 中谷委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・あと、事務局のほうから「その他」について。 |
| (1) 傍聴者からのご意見 | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・「その他」ということですが、今日は傍聴の方はいらっしゃいません。 ・河川事務所のほうから情報提供があるということですので、お願いいたします。 |
| | △松田 | <ul style="list-style-type: none"> ・保全対策官をしております松田と申します。 ・今日、会場に来られている方にはペーパーをお配りさせていただいてます。ウェブ参加の方につきましては画面のほうで共有させていただいてます。 ・本年度、新たに「流域治水課」が設置されました。設置といいましても、旧調査課が流域治水課に名前を変えたというものでございます。 ・流域治水につきましては以前より取組をされているところではありましたが、今年度よりさらに取組を強化していくということで流域治水課というふうに変えて、新たに施策を進めていくというものになったところでございます。 ・2枚目には、参考として流域治水の施策を記載してあります。簡単に申しますと、流域全体であらゆる関係者が協力してハード・ソフト一体で防災・減災を進めていくというものでございます。ですので、ハードだけでなくソフトということで、水害リスクの情報の発信とか、そういったものを含めて今後進めていくというものでございます。 ・詳細につきましては、またこの資料をご覧くださいければと思います。 ・以上となります。 |

| | | |
|--|------|---|
| | 矢野委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・補足しますと、今も申しましたように、流域治水というのはハードだけじゃなくてソフトもというふうなことで、ここで情報提供させていただいたのは、今のリスク情報ですとかマイ・タイムラインということで、災害が発生する1日前、2日前、特に台風なんかですと予測が出ますので、準備ができる。準備をしていれば、逃げる準備も含めて命が助かるいろんな行動が取れるということがあってこういったものも設定するというので、これも、今も申しましたように、国、行政だけじゃなくて、地元の住民の方も参画できるような仕組みになってございます。 ・そういった中では、レンジャーの方々が地元といろいろ取り組むに当たってはこういった防災教育も一つ活動の参考になるのかなということで事務局のほうから情報提供をさせていただきました。 ・詳細はいろいろあるんですけども、メニューもそろってますし、今もありました水辺の匠でもそんな活動をしてございます。滋賀県さんのほうは「地先の安全度マップ」ですとか「しがマイ・タイムライン」というふうなことで全国的にも先行的に取り組まれているので、なじみがいいのかなと思ってございます。国交省としては後追いというふうな形にはなりませんけども、なるべく滋賀県が今まで進めている中で併せてやっていこうと思っておりますので、こういったところを取り組んでいるということで今後のレンジャー活動に活用いただければな、ご相談いただければなというふうなことでの情報提供でございます。 ・以上です。 |
| | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 |

(R印：河川レンジャー, △印：事務局)

| 審議項目 | 発言者 | 発言要旨(発言順) |
|-------|-----|---|
| 6. 閉会 | △中西 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、これで、予定の審議、報告等、全て終わりました。本日は、長時間にわたりまして、ご審議ありがとうございました。以上をもちまして第69回河川レンジャー制度運営委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。 |